

2015年10月14日
イオン株式会社
イオンリテール株式会社

当社グループの新潟県における成長戦略について

イオンリテール株式会社（以下、イオンリテール）は本日、新潟県の老舗小売企業である清水商事株式会社（以下、清水商事）を新たにイオングループへ迎えること、並びにマックスバリュ東北株式会社（以下、マックスバリュ東北）の新潟県内7店舗を承継することを決定しました。これによりイオンリテールは、新潟県内でGMS（総合スーパー）16店舗に加え、清水商事のSM（食品スーパー）15店舗とマックスバリュ東北から承継する7店舗を合わせSM22店を運営する体制を構築しました。今後この経営資源を活かし、県内での新たな成長戦略を推進します。

小売業を取り巻く環境は、ディスカウントストアやドラッグストア、ネット事業者など業態を超えた競争が激化しています。日本海側で唯一政令指定都市を擁する新潟県も例外ではなく、同県内においても今後、小売企業同士の合従連衡や業界再編が更に進行すると想定しています。

このような経営環境の中、イオンリテールは本年より地域に密着した経営をさらに推進すべく、本州・四国の6カンパニーへ大幅に権限を移譲する経営改革に取り組んでいます。こうした中で北関東・新潟カンパニーが新潟県内での次なる成長に向けた取り組みとして、GMSに加えSMとの両輪で県内のお客さまのニーズにお応えしていくことが最善であると判断しました。清水商事のグループ入りとマックスバリュ7店舗の承継を受け、県内でのSM事業の成長を加速させるべく出店を進めます。

今後、両社が新潟県内で長年培ってきた地域でのネットワークや経営ノウハウを共有し有機的に結合させることで、多様化するお客さまのニーズにお応えできる店舗や商品・サービスの提供を実現してまいります。

以上